

総務産業建設常任委員会 会議録（要旨）

開催日時	令和5年1月24日 火曜日	9時54分～11時03分
開催場所	全員協議会室	
出席委員	中川 達 委員長、南 守雄 副委員長 米田一香、磯貝幸博、生田勇人	
欠席委員	（なし）	
オブザーバー	清水文雄 議長	
傍聴者	（なし）	
説明員	松井 総務部長、上前 都市整備部長、上出 都市整備部担当部長、高道 消防長、 宮本 総務課長、北 財政課長、神農 税務課長、奥田 企画課長、橋本 地域産業 振興課長、長谷川 地域産業振興課担当課長、渡辺 都市建設課長、法利 上下水 道課長、重島 消防次長、福島 会計課長	
事務局・書記	助田 議会事務局長、川端 事務局参事兼次長	

議 件

（1）執行部からの報告事項

- ・令和4年度 石川県国民保護共同図上訓練の実施について

国民保護法等に基づき、国・県をはじめとする関係機関参加のもと、テロ事案を想定した訓練を実施するもので、今回、石川県庁・金沢市役所・内灘町役場を会場に約200名が参加予定。実施日時は、令和5年2月14日(火)、午後1時30分から午後5時までで、内灘町では、「内灘海岸における不審船事案」、「内灘町文化会館における化学剤散布事案」を想定して、ロールプレイング方式で訓練を行う。 <石川県発表まで非公表>

- ・石川中央都市圏地域公共交通計画について

基本方針に基づく施策として、北陸鉄道 鉄道線の持続可能性確保や、内灘駅を含む交通結節点の整備・機能強化などの主な取組等について提示。

【委員】

浅野川線を上下分離した場合における、町の負担額を試算しているか。

【説明員】

上下分離の可否をこれから議論していくもので、事業費については、まだ試算する段階に至っていない。また、町としては、浅野川線を存続する方針であり、今後の議論の進捗状況については、議会にも示していく。

【委員】

コミュニティバスの相互乗り入れによる公共交通の利便性の向上をもっと進めるべき。

【説明員】

関係市町とも協議していく。

【委員】

内灘駅周辺整備事業について、町単独ではなく北陸鉄道など、関係機関にも協力を求めるべき。

【説明員】

現在、内灘駅構内で車両車庫を配置する整備計画案の見直しを、北陸鉄道も交えて進めており、今後も協力して事業を進めたい。

・ 昨年12月末の除雪の実施状況について

昨年、12月23日早朝以降、降雪が続いたことから、午後10時より道路の一斉除雪を実施した。

【委員】

消雪装置の水が出ていなかったのではないか。

【説明員】

水は出ていたが、短時間で積雪が増えたことや、夕方に発生した停電の影響が重なった。

【説明員】

除雪費の不足が見込まれるため、3月に補正予算の計上を予定していること、1月24日からの降雪で除雪費がさらに不足した場合は、補正予算の専決による対応をお願いしたい。

・ 白帆台町営住宅の工事の状況について

令和5年度の入居開始に向け、住宅本体工事及び外構工事を行っており、入居者募集の案内は、2月上旬より、チラシの戸別配布や町ホームページ等への掲載により行う予定。なお、9号棟、10号棟については、資材の納入に遅れが生じ、完成が遅れる見込みであるため、3月会議に予算の繰越明許の承認をお願いする予定。

・ 鶴ヶ丘団地県営住宅建設事業について

既存の12号棟から21号棟までの県営住宅を、白帆台及び鶴ヶ丘団地で新たに整備する計画で、鶴ヶ丘団地では、現在19～21号棟が取り壊され、新たに1号棟が完成済。県の計画によると、2号棟は、令和5年度中の完成予定であり、3号棟、4号棟については、令和7年度までの完成が見込まれている。12号棟から16号棟については、現在の居住者の移転完了後に解体することになっており、解体工事前後に跡地の利用について石川県と協議していく事になる。

（２）その他

- ・令和４年中の火災・救急・救助出動状況について

出動件数は、火災２件、救急は８０８件、救助は１０件。救急搬送者のうち、コロナ陽性者の搬送は６７件あり、軽症の場合が多い。

- ・石川県知事に対する、内灘海岸の旧浜茶屋の早期撤去の要望について

知事から、来年春の北陸新幹線 敦賀開業時を目途に、施設の撤去を目指すとの回答があった。また、町に対し、海岸と放水路の親水空間を一体的に整備する構想を作ってほしいとのご意見があった。町としては、放水路を含めた新たな構想について、次年度に検討したい。

（以上）